



明化の教

10月号 (第526号)

令和6年9月30日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

ウェルビーイングの向上を目指して

副校長 原 洋子



9月26日には東京フィルハーモニー交響楽団による音楽鑑賞会でした。

先日の土曜授業公開は、多くの保護者の皆様や地域の皆様にご参観くださいました。誠にありがとうございました。今回は外部講師の授業もあり、東京都生活文化スポーツ局による自転車シミュレータ(3年)、トヨタによるオンライン授業(5年)、劇団四季による美しい日本語の話し方教室(6年)と、講師の皆様にも大変お世話になりました。劇団四季の授業を拝見しましたが、俳優さんのご指導で、母音を使って発声し、心を込めて相手に伝える大切さを子供たちは学ぶことができたと思

います。また、後半は舞台上で使われる歌を歌い、最後は俳優の皆さんが子供たちと目を合わせながら、一緒に歌ってくださいました。「みんなはひとりのために ひとりはみんなのために」その歌を聞きながら「ウェルビーイング」という言葉が頭に浮かびました。

東京都では、次期教育振興基本計画でウェルビーイングの向上を目標にしています。文部科学省の資料によると、ウェルビーイングとは「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」をいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念と定義しています。なぜウェルビーイングが求められるのかというと、一つは国際的な比較調査で我が国の子供たちのウェルビーイングは低いとの傾向が報告されることがあるからです。

また近年、不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要だからです。

ウェルビーイングの主観的指標には以下等があります。

- 自分にはよいところがあると思う
- 将来の夢や目標を持っている
- 授業の内容がよく分かる
- 勉強は好きと思う
- 学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- 先生は自分のいいところを認めてくれる
- 困りごとや不安がある時に先生が学校にいる大人にいつでも相談できる
- 自分の幸福感
- 友人関係の満足度
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 人が困っているときはすすんで助けている

そして、子供たちのウェルビーイングを高めるためには教職員をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要だそうです。私たち一人一人も上記の指標を確認しながら、ウェルビーイングを高めることを意識したいと思います。「みんなはひとりのために ひとりはみんなのために」